

令和6年度 長崎県立鳴滝高等学校通信制「ふるさと教育」体系図

テーマ	通信制高校における「ふるさと教育」	
目標	面接指導、レポートを通して、ふるさとへの愛着と誇りを育成し、将来ふるさとで活躍できる人材を育成する。	
育成したい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣 ・ 学習に真剣に取り組み、未来を切り開く志 ・ しなやかな心身と積極性 ・ 周囲への配慮 ・ 自分自身、家族、ふるさと、世界を大切にすること 	
外部連携機関 (行政機関・事務所)	長崎県立鳴滝高等学校通信制 普通科1、2、3、4年次生	外部連携 (大学・専門機関)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長崎県教育委員会 ・ 長崎市教育委員会 ・ 長崎市役所生活福祉課 ・ 長崎市民生活支援相談センター ・ 長崎市役所子ども子育てサポート課 	<p>《校内組織》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リポート委員会：副校長 教務主任 学習指導部主任 各学年次主任 協力校主任 学習指導部係 ・ 平和学習実行委員会：教育相談部係 各学年次係 <p>《主な取組》</p> <p>○総合的な探究の時間①「鳴滝高校を知ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴滝高校通信制の仕組みを理解させるとともに、自ら学びに向かう力を育てる。 ・ これまでの自分に向き合い、今後の自分のあり方を考えながら学校生活を送ることで、他者や社会との関わりを意識させ、基本的なルールやマナーを学ばせる。 <p>○総合的な探究の時間②「地域を知ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会の一員として社会の中で生活し、また地域に貢献していくために、まず自分の住んでいる地域を理解する。 ・ 鳴滝高校で学ぶ生徒の居住地は長崎県内全域に及ぶことから、私たちの郷土としての長崎県について理解を深める。 <p>○総合的な探究の学習③「将来を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会に出たとき自分がどういう生き方をしたいか、どんな職業に就きたいかを考えさせ、そのための条件などを調べさせる。 ・ 上記の目標を達成するためには、どういう準備が必要であるのかを研究させる。 <p>○平和集会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被爆地長崎に生きる者として、被爆の体験や思いを受け継ぎ、平和の尊さを知り次世代に受け継ぐ。 <p>《成果目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさとの発展に貢献したいという意識の向上 (生徒アンケート結果85%以上) ・ 生徒の県内への定着希望の向上 (生徒アンケート結果85%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シーボルト記念館 ・ 長崎原爆資料館 ・ 長崎市平和会館

